

ウミホタル観察講座 開催しました！



- 日時 令和元年7月28日（日）18：30～20：30
- 会場 高松市ヨット競技場 大的場海岸
- 講師 香川県立三木高校 教頭 塩田 浩之 氏

7月28日（日）に、高松市ヨット競技場及び大的場海岸で、ウミホタル観察講座を開催しました。初めに、講師から「ウミホタル」についての説明が行われました。



高度経済成長期を境に、海の水質が悪化しウミホタルを観察する事が難しくなりましたが、近年では水質も回復しつつあり、県内各地の海で観察ができるほどウミホタルが増えているというお話がありました。

次に、ウミホタルを採取する際の注意事項の説明がありました。受講者が事前に作成してきたウミホタル採集器に、小石を採集器の4分の1程度入れ、さらに魚肉ソーセージを入れます。受講者は採集器を海へ投げ入れる際の注意点や、ライフジャケットの着用方法について説明を受けた後、大的場海岸へ移動しました。



※ウミホタル採集器に小石やエサを加え、準備を進める様子

大の場海岸へ移動してから、ウミホタルの採集の準備を進めました。海へ投げ入れて待つこと15分。ウミホタルは刺激を受ける事で発光物質を出す性質があるのでそっと引き上げます。

採集器の海水を勢いよくバットへ移すと、刺激でウミホタルが発光物質を吐き出し、海水中にある酸素と反応することで青い光を放ちます。

幻想的に青い光を放つウミホタルに、受講者の子どもから大人の方まで歓声を上げていました。



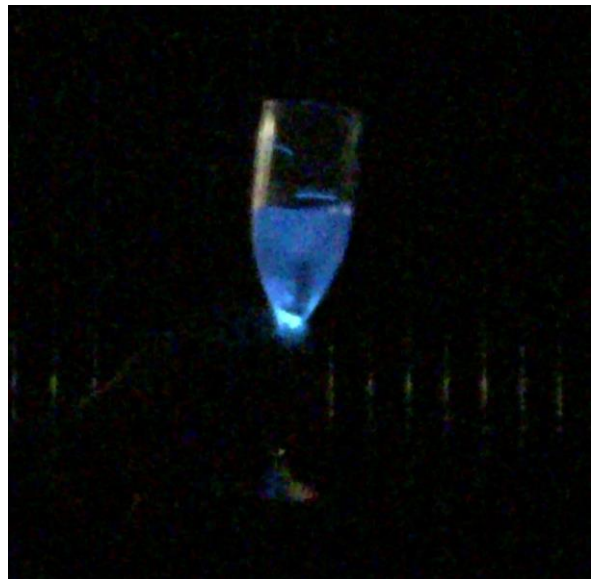
※ウミホタル採集器を投げ込んで待つ様子



※ライトを当ててウミホタルが動いている様子を観察

講師からは、ウミホタルの光る様子を楽しむ方法として「ウミホタルのじゅうたん」や「ウミホタルのカクテル」を披露していただきました。

受講者からは「先生の解説がわかりやすく楽しかった。」「子どもに海の面白さを知ってもらえて良かった。」等の声が上がりました。



※氷水を入れたカクテルグラスにウミホタルを入れて発光する様子。まるで「ウミホタルのカクテル」のよう。